

書道部

飛騨高山ウルトラマラソン入賞者へ渡す

きごう 飛騨春慶塗の盾揮毫

ウルトラマラソンの后に卒業する書道部員一高山市下四本町、飛騨高山高校岡本キヤンパス

ウルトラマラソン走者へ一筆エール

飛騨高山高生、盾に揮毫

6月11日に高山市で開かれる第11回飛騨高山ウルトラマラソンを前に、飛騨高山高校（同市下四本町）の書道部員が、優勝者らに贈られる飛騨春慶塗の記念盾に揮毫した。

（安井真由子）

大会は100キロと71キロの2コースで、全国から集まったランナーが古い町並みや新緑の高原を駆け回る。同校書道部は第3回大会から盾の揮毫を担当している。

縦横30センチほどの六角形の盾に、大会名や部門名（「部」や「夢」といった漢字一文字を毛筆で入れる。1〜3年の5人で計12枚を仕上げ、1盾の字を書いた部長の3年下横谷優さん（17）は「太さやかすれでスリハリを工夫した。走りさった人に贈ってもらいたい」と話した。

書道部員 工夫凝らし12枚